

● 地域提案型

平成24年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	スリランカ
2. 事業名	水道施設設計・施工管理能力強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	スリランカでは、無収水率（水漏れ等により料金が徴収されない水道の割合）が31.1パーセントと依然高い状態が続いている。この背景には、水道事業を管轄するスリランカ上下水道庁（NWSDB）において、配水管をはじめとする施設の工事に際して、将来の維持管理まで見越した設計や工事現場での施工管理の能力が不足しているという状況がある。このため、新たに水道施設を整備・更新する場合に、施設を維持管理しやすく、また将来漏水が発生しないよう指針に基づいて設計し、施工時には現場で施工品質を管理するなどの対応が必要である。
4. プロジェクト目標	漏水の少ない維持管理の容易な水道施設を実現するために、NWSDB独自の、配水管を含む水道施設の工事に関する基準を作る。
5. 対象地域	コロンボ市
6. 受益者層（人数規模）	直接：約1万1千人（NWSDB職員） 間接：65万人（コロンボ市の人口）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<アウトプット> NWSDBの水道技術者が、維持管理の容易な水道施設の設計、および水道施設建設の監督・施工管理に必要な知識・技術を取得する <活動> <ul style="list-style-type: none"> ● スリランカへの専門家派遣（2名、2週間） ● 研修員を受け入れて本邦研修の実施（4名、3週間） ● スリランカへのフォローアップの専門家派遣（2名、1週間）
8. 実施期間	2013年4月から2014年3月
9. 事業費概算額	6,590千円
10. 事業の実施体制	名古屋市上下水道局総務部職員研修所 スリランカ上下水道庁（NWSDB）日本プロジェクト室
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	名古屋市上下水道局
2. 対象国との関係、協力実績	水道事業で、集団研修「上水道無収水量管理対策」で過去10年間に8名の研修員を受け入れ、2012年9月、集団研修「上水道無収水量管理対策」のフォローアップとして、スリランカでのセミナー開催に講師として職員2名を派遣した。下水道事業で、「スリランカ国・下水道計画維持管理技術向上支援」として2004年4月から2年間、職員を専門家として長期派遣した。